



Pachinko Diffusion Index

第 43 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

■ D I (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、2000 年 6 月より四半期ごとに実施している調査。

■ 今回の調査について

1. 調査対象： 日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会、A c l u b 会員（エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員）他、全国の有力パチンコ店経営企業の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2010 年 12 月 10 日～2011 年 1 月 10 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回答状況： 有効回答数 120 企業・145 地域（企業により重複地域有）

2011 年 1 月

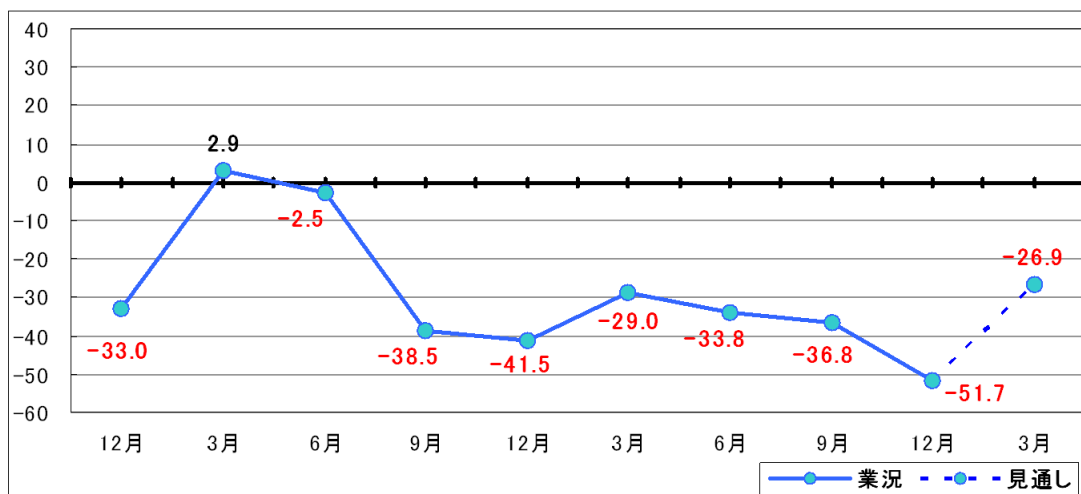


株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査結果ダイジェスト

『全般的業況』 DI 値 - 51.7 ポイント、さらに悪化

全般的業況 【全体】



2010年12月の「全般的業況感」は大幅にマイナスに落ち込み、非常に厳しい状況を感じさせる結果となった。(詳細 P.4・P.17)

事業者規模別の回答結果では、全般的業況は中規模事業者のみ改善したが、大規模事業者は前回(2010年9月)と比較して、マイナス15.6ポイントと数値を大幅に下げる結果となった。「見通し(今後3ヶ月)」においてもマイナス傾向は変わらないが、全規模事業者で改善の見通しである。(詳細 P.5・P.17)

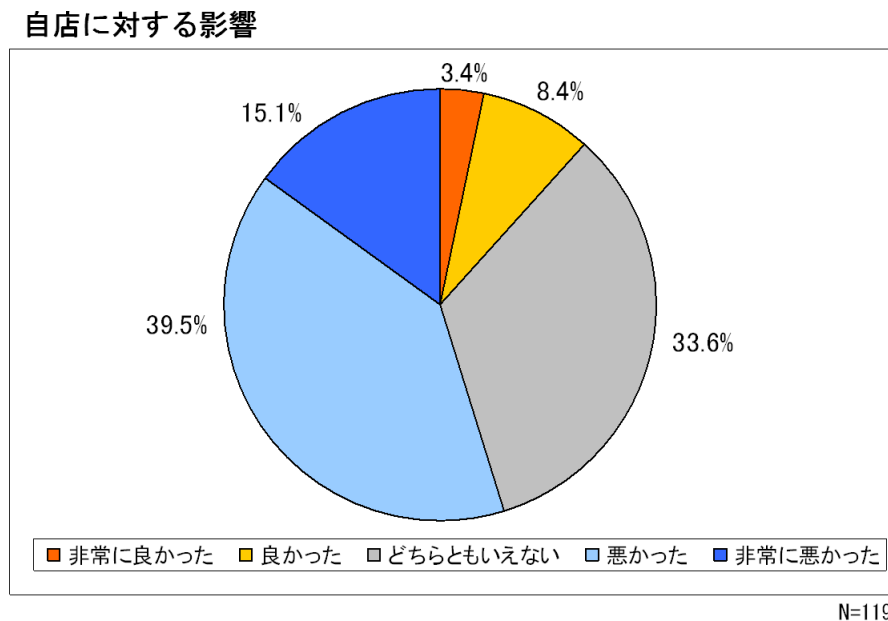
地域別回答結果では、「全般的業況」に改善が見られたのは「北海道・東北」のみにとどまった。「関東」「近畿」「中国・四国・九州」の3地域はマイナス50ポイント強となっており、非常に厳しい状況がうかがえる。(詳細 P.5・P.17)

<DI 値算出の方法>

業況判断指数(DI)は、業況判断の変化を「良い」「さほど良くない」「悪い」の三択方式で実施。「良い」「さほど良くない」「悪い」の企業数の割合を百分比で表し、「良い」(%ポイント)から「悪い」(%ポイント)を差し引きしてDI値を算出。

調査結果ダイジェスト

■『入替自粛』 自店に対する影響 約 5 割が「悪かった」と回答



入替自粛の自店に対する影響は「非常に悪かった」「悪かった」とマイナスの影響があった割合が 54.2%であり、半数以上でマイナスの影響があった。

事業者規模が大きくなるほど、この数値が高くなっており大規模事業者ほどマイナスの影響があったと回答している。(詳細 P. 11)

入替期間中と入替自粛期間前を比較すると、「客数の減少」「売上・粗利の減少」の数値がそれぞれ 70%を超えており、他の項目よりも突出して高くなっている。(詳細 P. 12~13)

自粛期間中の取組みについての全体結果では「イベント強化」「販促強化」が50%以上を超え、事業者規模が大きくなるほどこの数値が高くなった。(詳細 P. 14)

自由記述回答では「年に1~2回自粛期間をやったほうがよい」「入替自粛期間は必要」といった肯定的な意見も見られた。(詳細 P. 15)

1. パチンコ業界全体 主要指標一覧

■パチンコ 大きく低下、パチスロは大きく改善

「全般的業況」でのDI値は14.9ポイントの悪化。パチンコの稼働状況はマイナス58.1ポイントも数値を下げたが、パチスロが再び14.1ポイントとプラスに転じている。

パチスロの稼働状況で改善がみられたとはいえ楽観視できる景況感とはいえず、依然明るい兆しは見えない状況が続いているものと思われる。

主要指標【パチンコ業界全体】

項 目	D. I. 値			業界天気		コメント
	前回の 現状	今回の 現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-36.8	-51.7	-26.9			引き続き雷雨 見通しは雨に改善
2. 稼働状況 (パチンコ)	-1.6	-59.7	-31.9			曇りから雷雨に悪化 見通しも変わらず雷雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	-5.6	14.1	28.2			曇りから薄曇りに改善 見通しも変わらず薄曇
4. 資本投資気運の 変化 (遊技機)	-10.4	-10.9	-27.4			引き続き雨 数値悪化するも見通し雨
5. 資本投資気運の 変化 (設備)	-1.9	-1.7	1.7			引き続き曇り 見通しも変わらず
6. 営業用設備の 不足感	-34.1	-5.6	-7.6			雷雨から曇りに改善 見通しも変わらず曇り
7. 雇用人員の 不足感	4.9	-2.1	-2.8			引き続き曇り 見通しも変わらず

注: 前回の現状は 2010 年 10 月調査時の結果

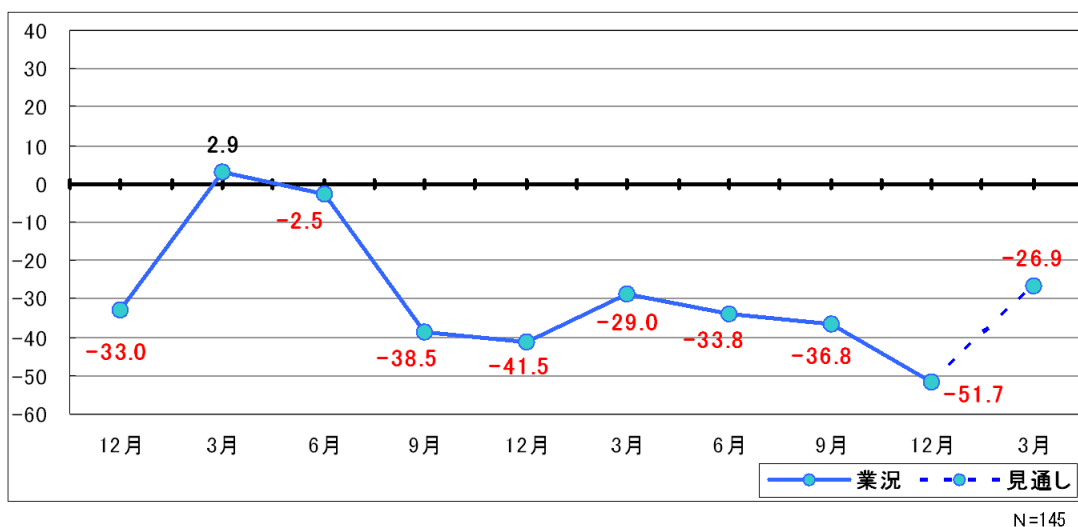
凡例: 天気記号基準

記号	数値	記号	数値	記号	数値
 晴れ	30.0 ~		-9.9 ~	 雨	-29.9 ~ -10.0
 薄曇	10.0 ~ 29.9	 曇り	9.9	 雷雨	-30.0 ~

2. 全般的業況 ①全体業況・全体業況判断理由

■『全体』 マイナス 51.7 ポイントと大幅に悪化、見通しは改善傾向

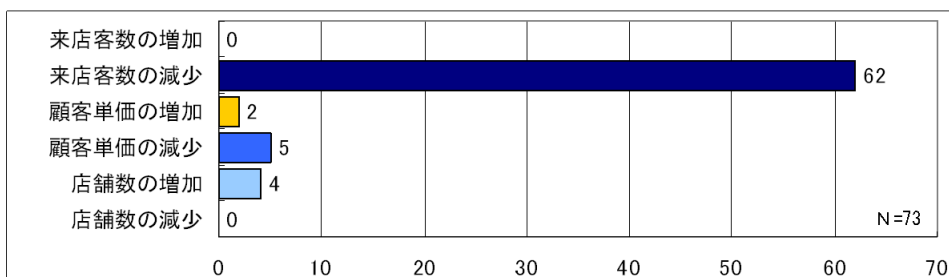
全般的業況 【全体】



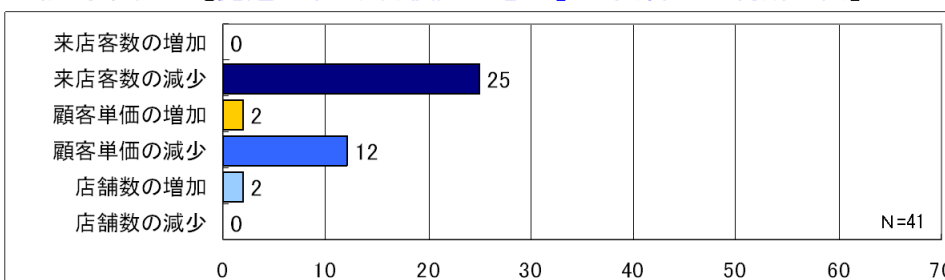
前回調査時（2010年9月）マイナス36.8ポイントから、マイナス51.7ポイントと14.9ポイントの悪化となった。見通し（3ヶ月後）ではマイナス26.9ポイントと24.8ポイントの改善が見られる。

■『全般的業況：「悪い」と判断した理由』『来店客数の減少』が大きく影響

全般的業況 【現況：「悪い」と回答した判断理由】



全般的業況 【見通し（3ヶ月後）：「悪い」と回答した判断理由】

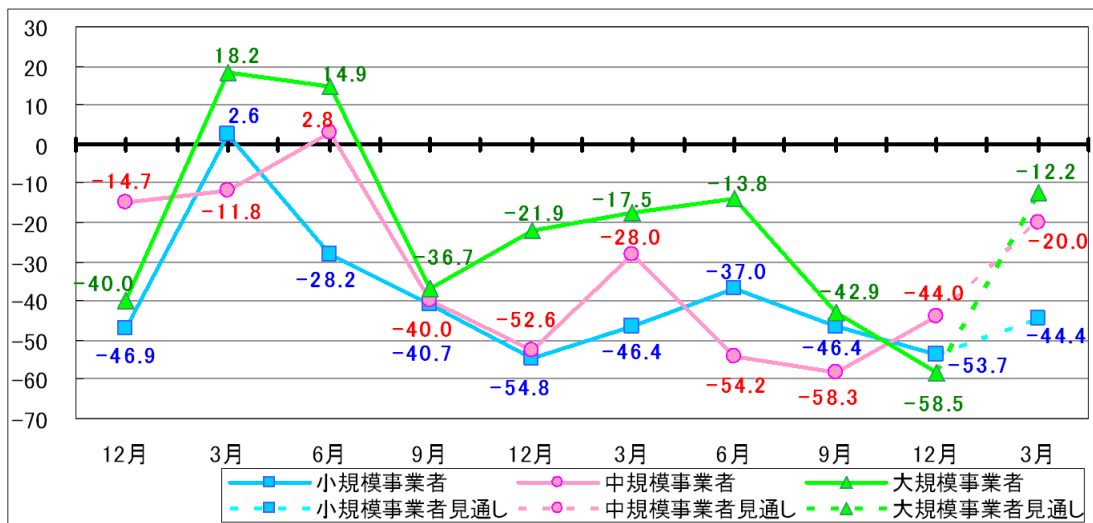


※「良い」と回答した企業が現況ではゼロ、見通しも4のため「悪い」のみ表記

2. 全般的業況 ②規模別・地域別

■『規模別』 「中規模事業者」のみ改善傾向

全般的業況 【規模別】



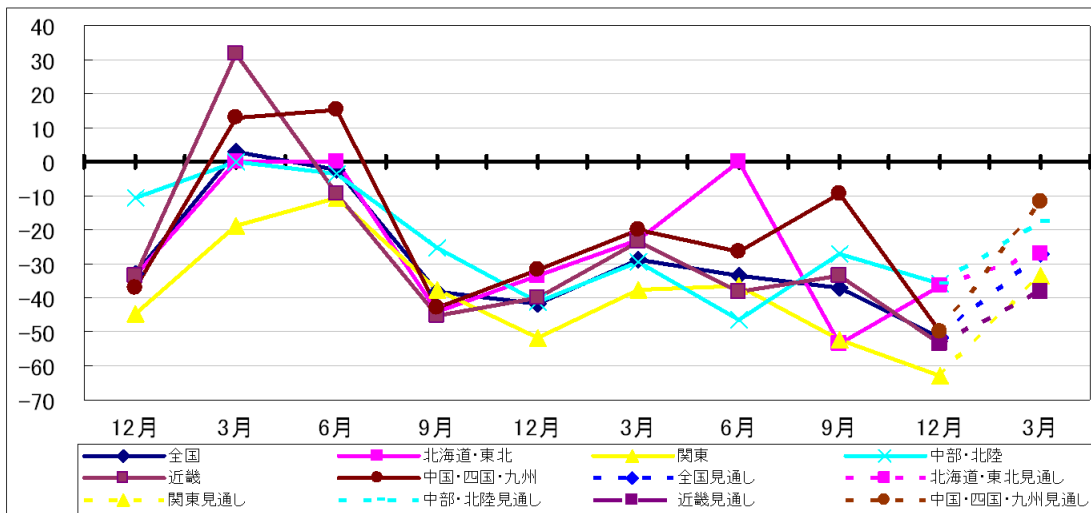
小規模事業者: N=54 中規模事業者: N=46 大規模事業者: N=20

注: 小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上

中規模事業者が14.3ポイント数値を改善させている。しかしながら、大規模事業者は前回調査時(2010年9月)よりも15.6ポイントも大幅に数値を下げている。2009年3月から、全規模事業者で数値が一番高かった大規模事業者が、今回の調査では一番数値が低い結果となった。

■『地域別』 「北海道・東北」のみ数値が改善

全般的業況 【地域別】

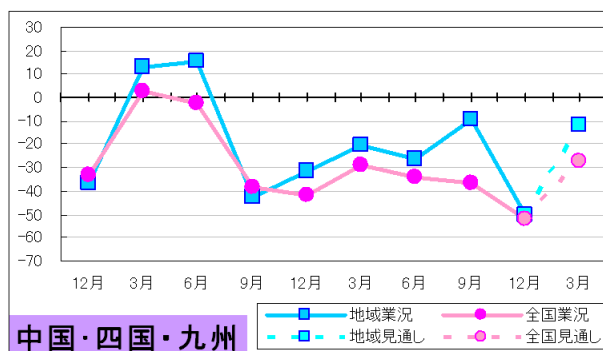
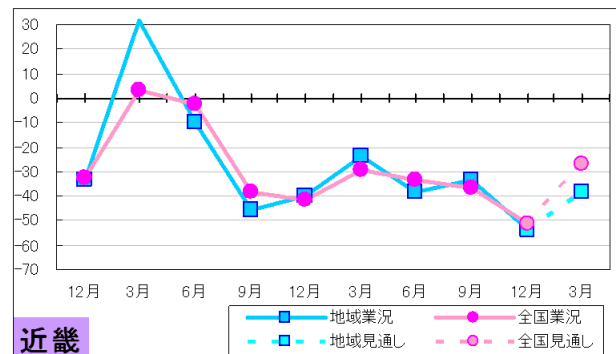
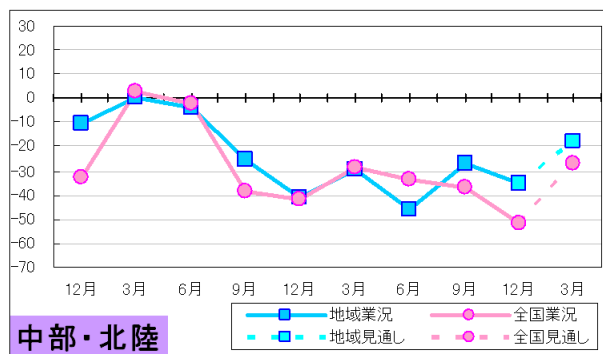
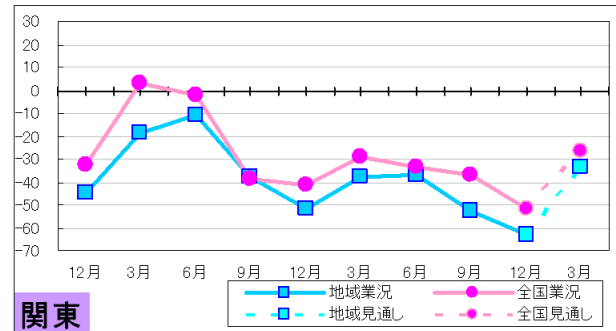
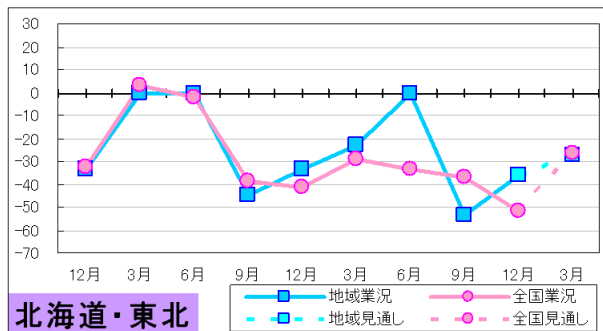


「北海道・東北」のみに改善傾向が見られた。それ以外の地域は数値を下げており、特に「中国・四国・九州」は前回比で40.5ポイントも数値を下げている。

2. 全般的業況 ③地域別詳細

■『地域別』 「中国・四国・九州」 前回よりも 40 ポイント強のマイナス

全般的業況 【地域別】



北海道・東北:N=11 関東:N=54 中部・北陸:N=28 近畿:N=26 中国・四国・九州:N=26

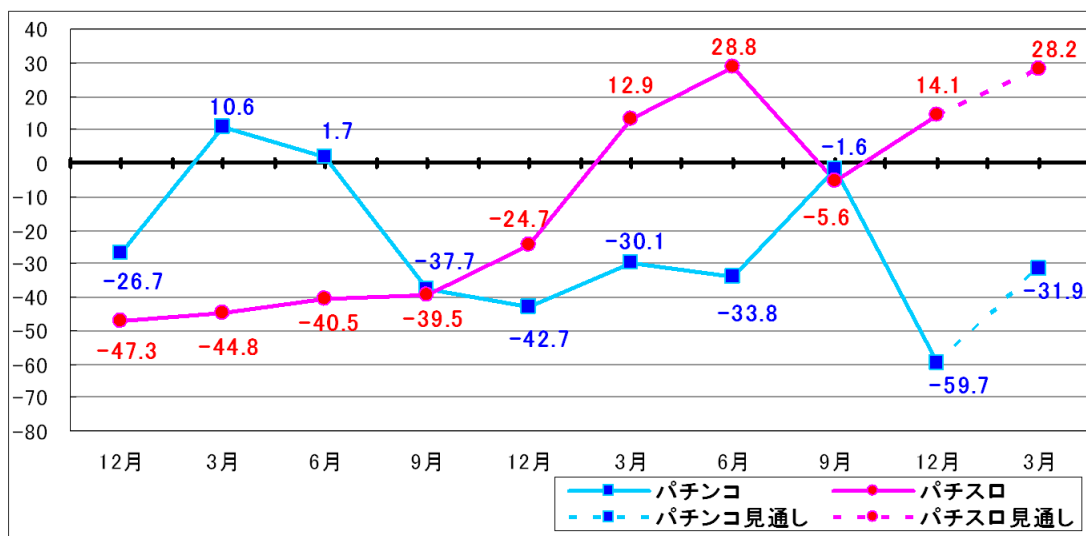
「北海道・東北」のみ数値が改善した。全地域でマイナスであるが、「関東」「近畿」「中国・四国・九州」の3地域はマイナス50ポイントを超えている。(数値詳細 P. 17)

見通し(3ヶ月後)では全地域で改善傾向となり、「関東」は30ポイント弱、「中国・四国・九州」は40ポイント弱の改善傾向が見られた。(数値詳細 P. 17)

3. 稼働状況 ①パチンコ・パチスロ

■パチンコ 再び大幅に悪化、パチスロ 改善傾向

稼働状況 【パチンコ・パチスロ別】

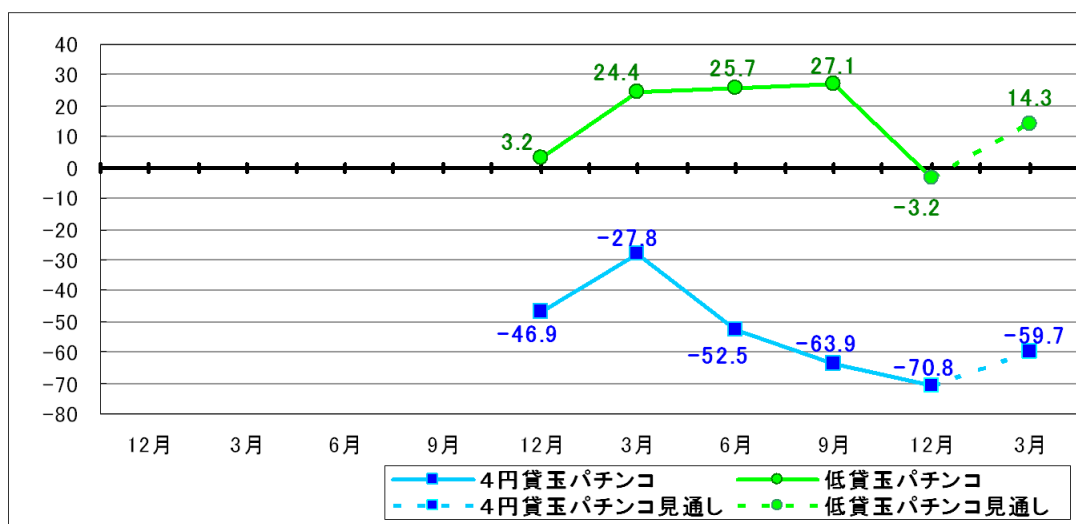


パチスロが 19.7 ポイント改善し再びプラス圏に入った。しかし、パチンコが 58.1 ポイント、数値を大幅に悪化させる結果となった。

見通し（3ヶ月後）では、パチンコ・パチスロ共に改善傾向である。

■低貸玉パチンコ、4 期続いたプラスからマイナス圏へ

稼働状況 【4円貸玉・低貸玉別】

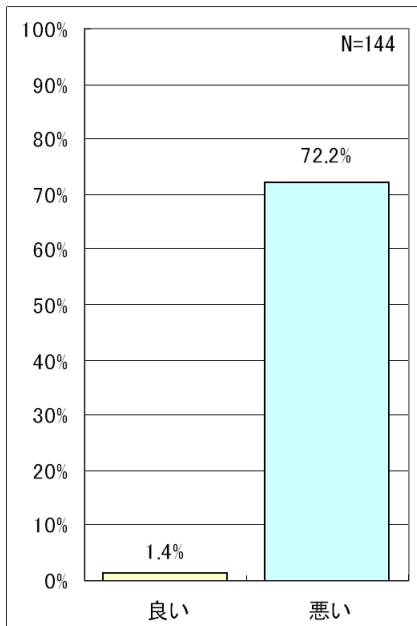


4円パチンコはマイナス 70.8 ポイントと更に数値を下げる結果となり依然厳しい状況である。また、低貸玉パチンコもマイナス 3.2 ポイントと、マイナスの結果となった。

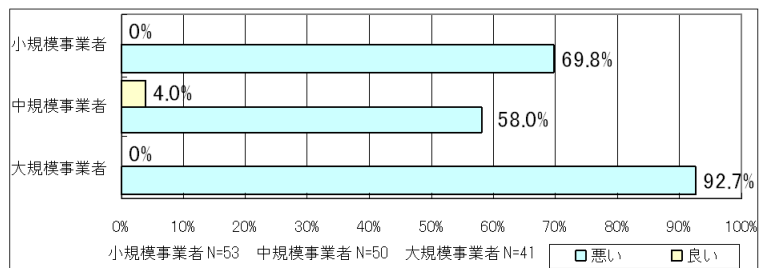
3. 稼働状況 ②パチンコ 4 円貸玉・低貸玉

■『4 円貸玉』 「地域別」 北海道・東北／関東／中部・北陸 良い傾向なし

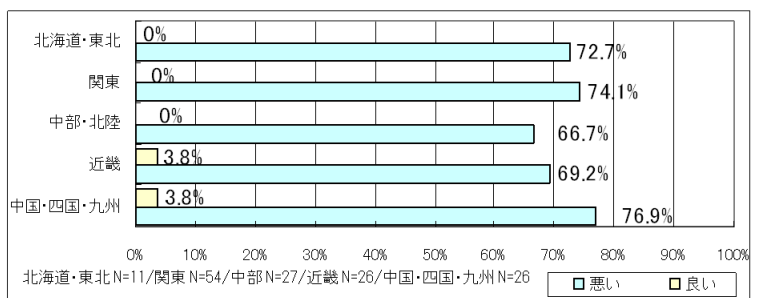
【全体】



【規模別】



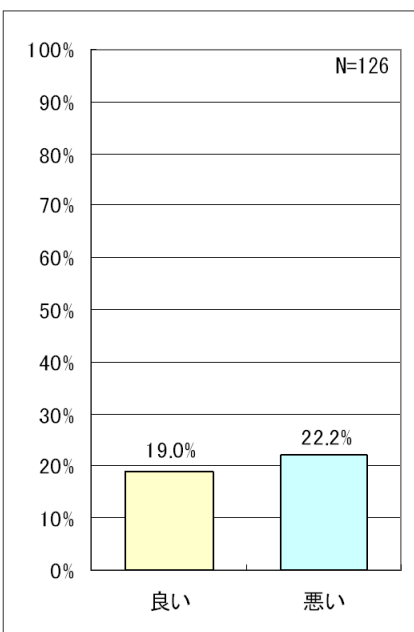
【地域別】



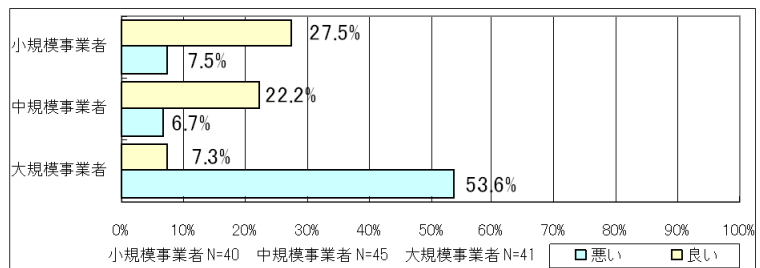
地域別で、前回の第 42 回 DI 調査同様、「北海道・東北」「関東」は「良い」と回答した企業はなく、特にこの 2 地域は厳しい状況が続いている。

■『低貸玉』 「規模別」 大規模事業者のみマイナス傾向が強い

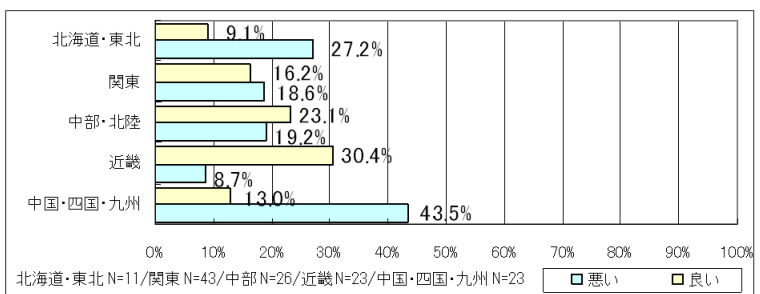
【全体】



【規模別】



【地域別】

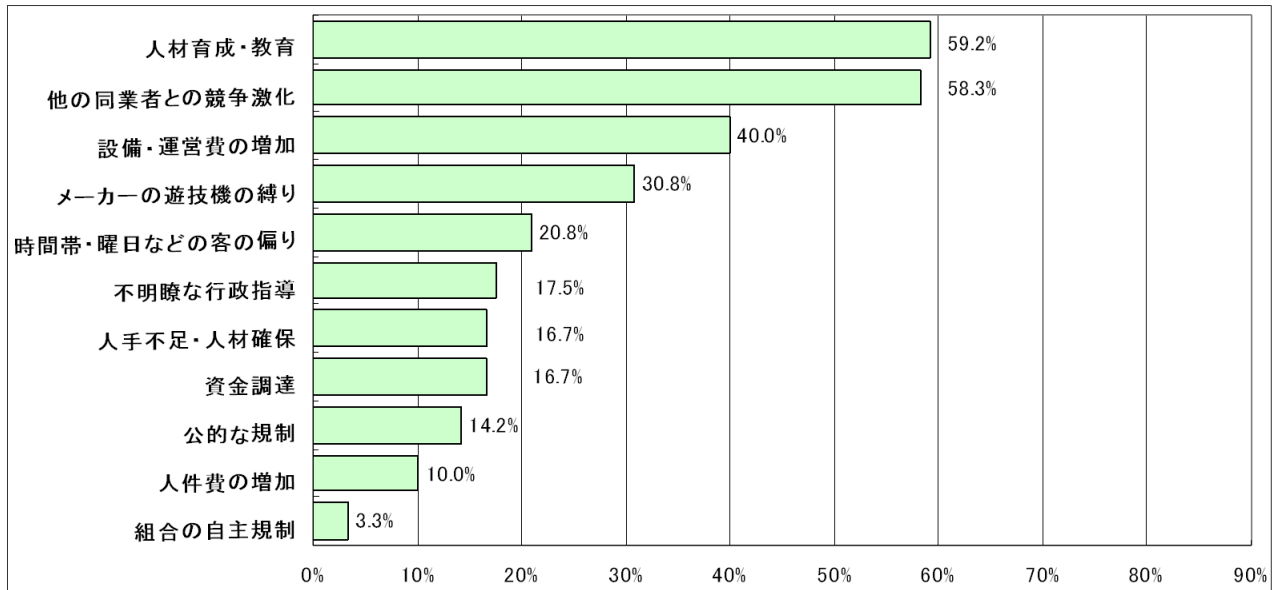


注：小規模事業者＝1～3 店舗 中規模事業者＝4～10 店舗 大規模事業者＝11 店舗以上

4. 経営上の課題 ①全体

■『全体』 4 位以下であった「設備・運営費の増加」3 年半ぶりに 3 位に上昇

経営上の課題 【全体】



複数回答による集計 N=120

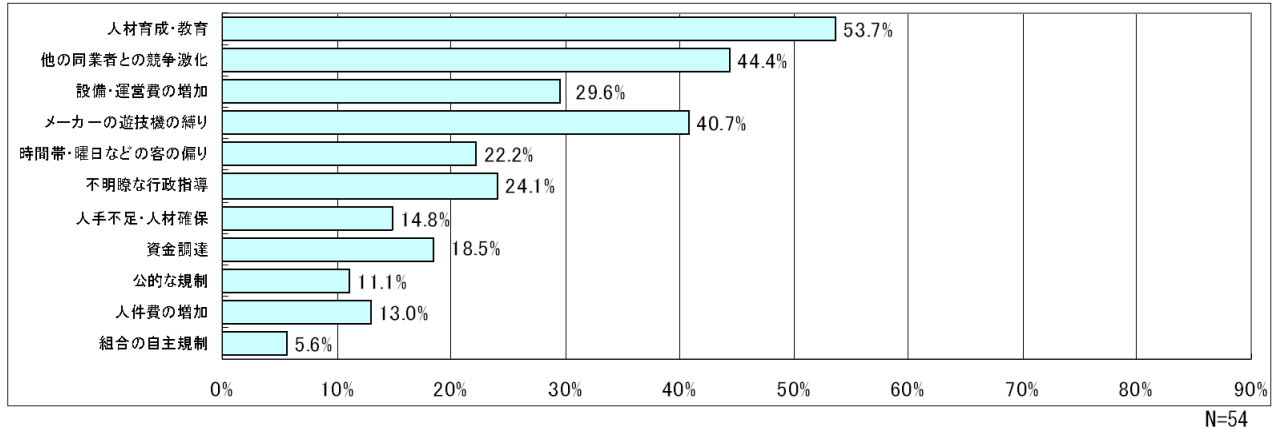
ここ 3 年間、経営上の課題の回答結果で、上位 3 項目は「人材育成・教育」「他の同業者との競争激化」「メーカーの遊技機販売の縛り」で占めることがほとんどであった。

しかし、今回第 3 位に「設備・運営費の増加」が入った（2007 年 6 月の第 29 回調査以来 3 年半ぶり）。経営上の課題で、「設備・運営費の増加」に課題を感じる店舗が多くなったことがうかがえる。

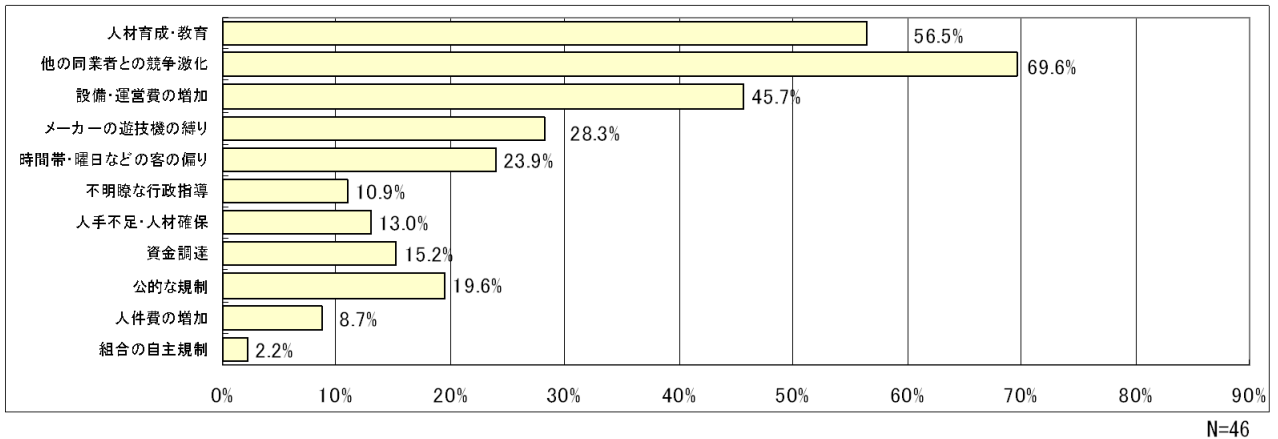
4. 経営上の課題 ②規模別

■『規模別』 中規模事業者「同業者との競争激化」がトップ

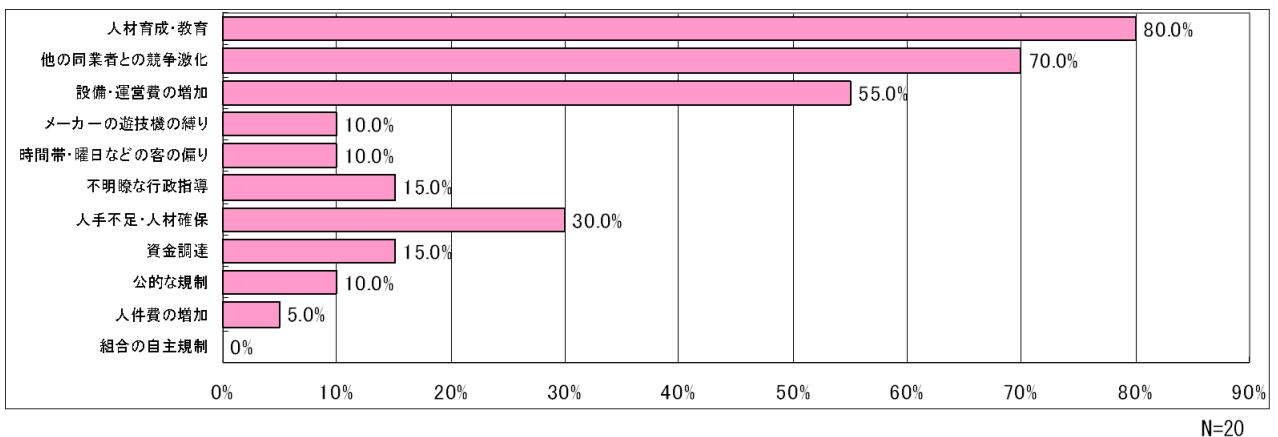
小規模事業者



中規模事業者



大規模事業者

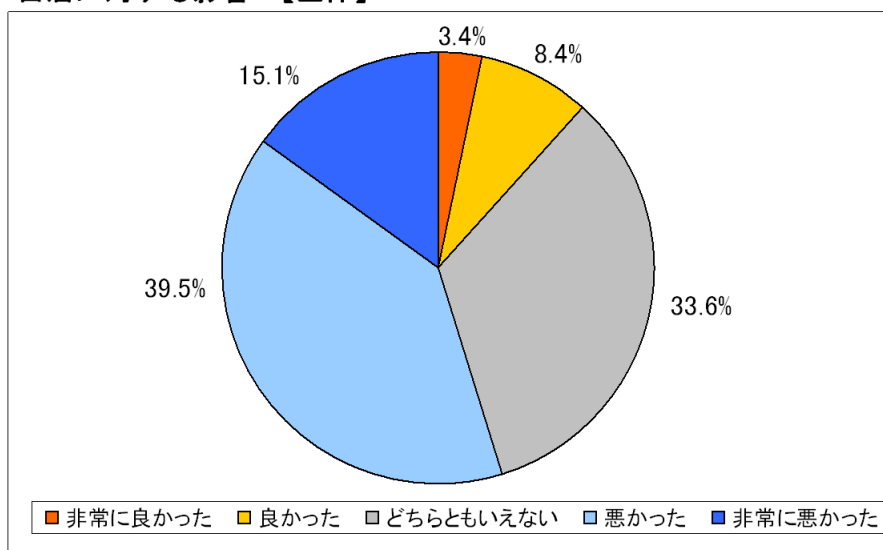


注：小規模事業者＝1～3 店舗 中規模事業者＝4～10 店舗 大規模事業者＝11 店舗以上 複数回答による集計

5. 入替自粛期間 ①自店に対する影響

■『全体』 5 4. 2 %が「悪かった」と、半数を超える回答

自店に対する影響【全体】

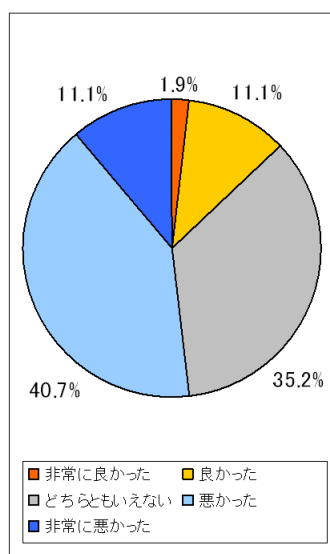


N=119

■『規模別』 マイナスの影響が一番大きかったのは「大規模事業者」

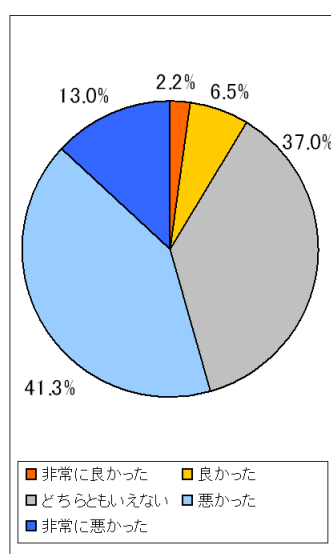
自店に対する影響【規模別】

小規模事業者



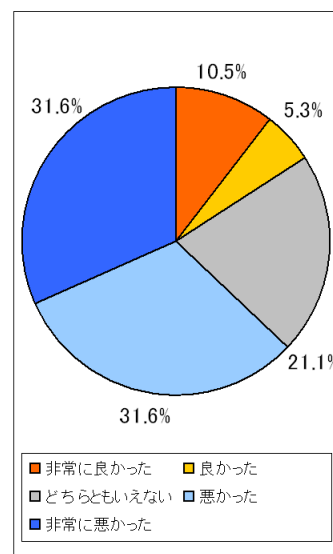
N=54

中規模事業者



N=46

大規模事業者



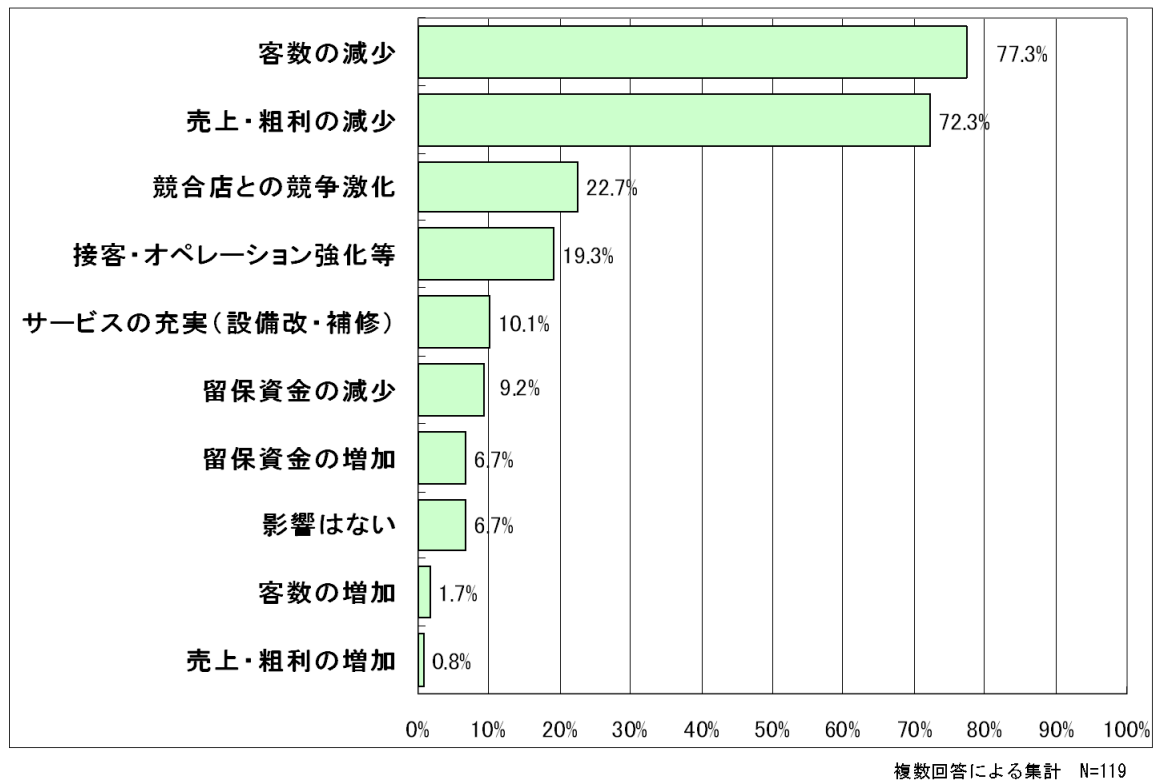
N=19

「非常に悪かった」「悪かった」を合わせた割合で、全ての規模事業者が50%を超えている。特に大規模事業者は、他の規模事業者よりも60%と数値が高くなっている。

5. 入替自粛期間 ②自粛期間前との比較

■『全体』 「客数の減少」「売上・粗利の減少」に大きく影響

自粛期間前との比較【全体】



他の項目と比較して「客数の減少」「売上・粗利の減少」は、70%以上と突出した数値になっている。入替自粛期間前と比較して、多くの店舗でマイナスの影響が出ている結果となった。

規模別に見ると、規模事業者が大きくなるにつれて「客数の減少」「売上・粗利の減少」の数値が高くなっている。特に大規模事業者は両項目とも80%以上の高い数値になっている。(詳細 P. 13)

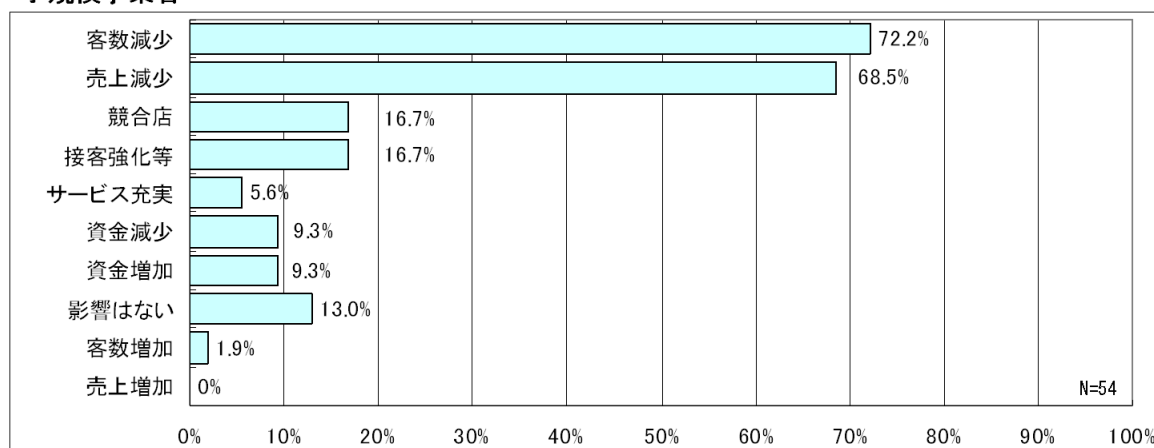
一方で、小規模事業者の13%が「影響はない」という結果となった。大規模事業者が0%・中規模事業者が2.2%の結果を見ると事業規模が小さくなるほど、影響が少なかったことがうかがえる。(詳細 P. 13)

5. 入替自粛期間 ②自粛期間前との比較

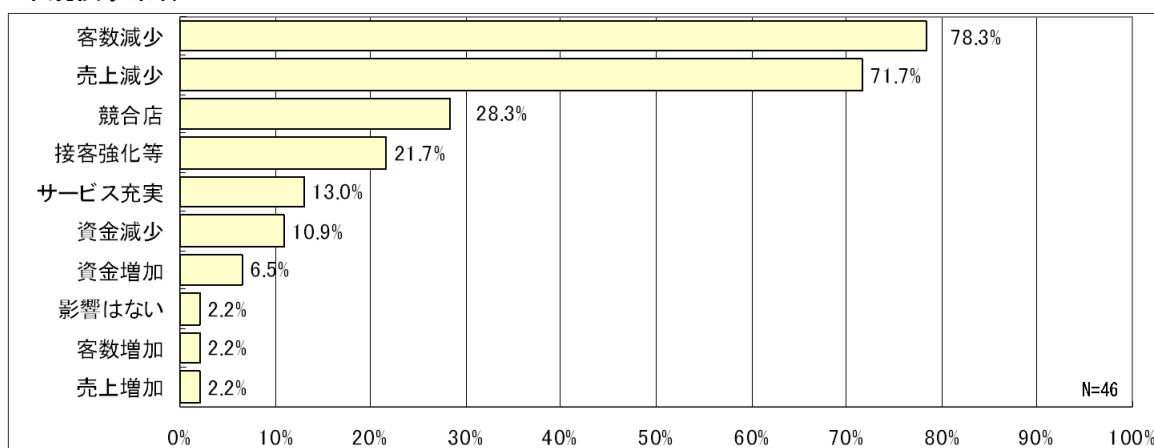
■『規模別』 「影響はない」 小規模事業者のみ突出した数値

自粛期間前との比較 【規模別】

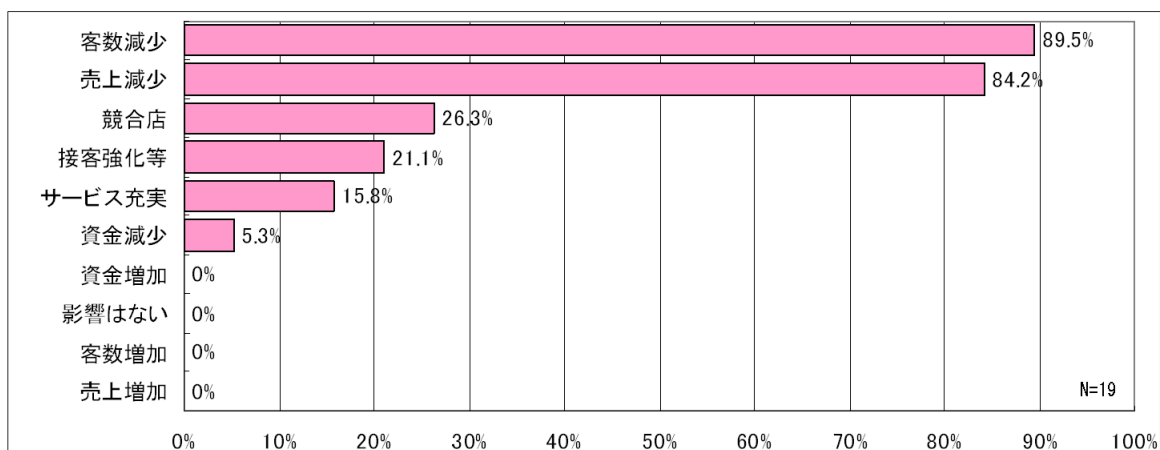
小規模事業者



中規模事業者



大規模事業者

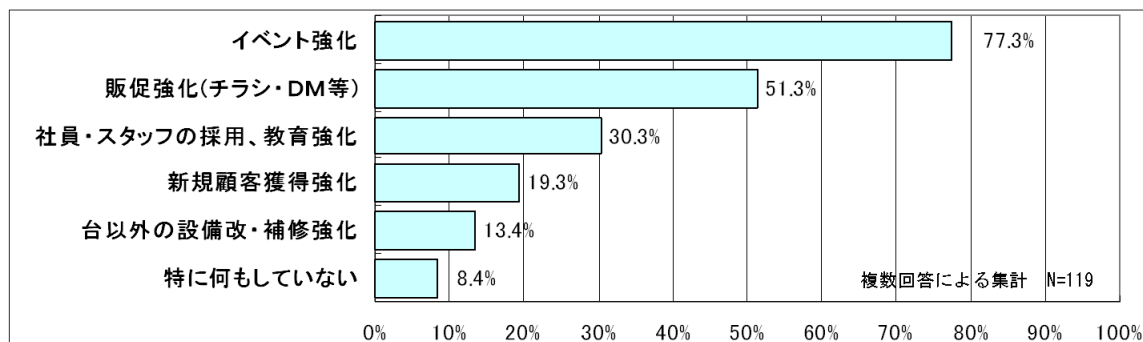


注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上 複数回答による集計

5. 入替自粛期間 ③自粛期間中取り組み

■『全体』 50%以上が「イベント強化」「販促強化」を実施

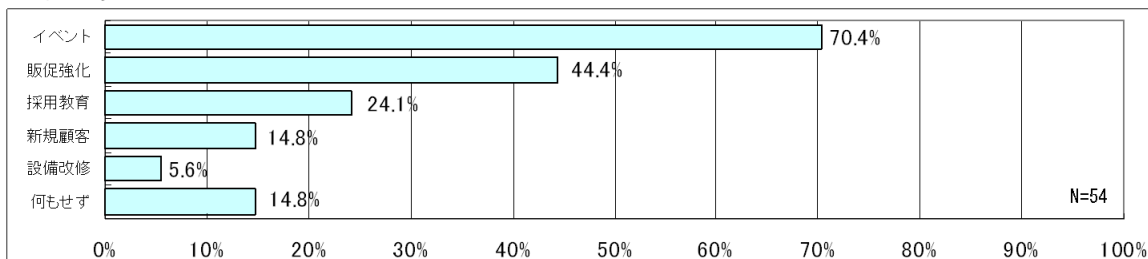
自粛期間中取り組み 【全体】



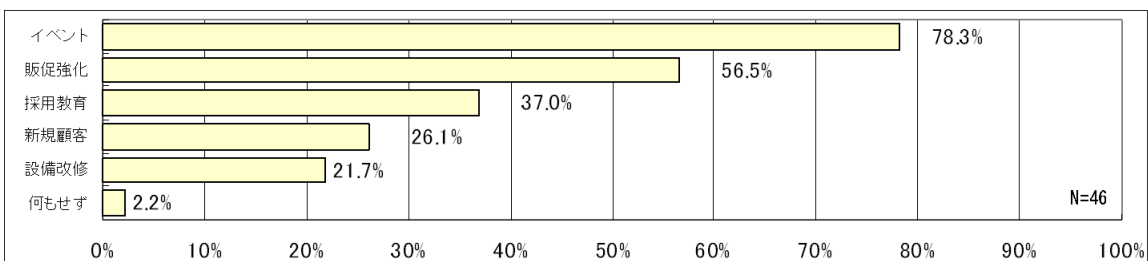
■『規模別』 大規模事業者 9割が「イベント強化」に取り組む

自粛期間中取り組み 【規模別】

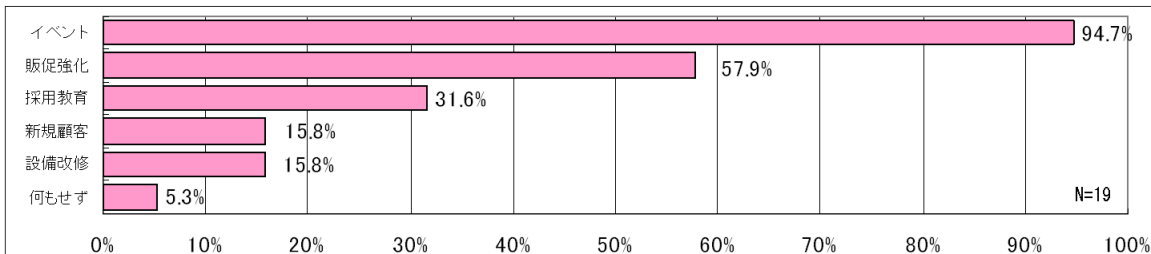
小規模事業者



中規模事業者



大規模事業者



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上 複数回答による集計

5. 入替自粛期間 ④自由記述回答

(一部抜粋)

- ◇『機械に頼らない本当の意味での営業を考えるよい機会だった。ただし、業界全体でみると参加人口の減少、自粛期間前後の過剰な入替が行われたという負の面が強く出たことを考えると、入替自粛という顧客とは関係のない取り組みは疑問に感じる』(中部・大規模事業者)
- ◇『新台入替がないから集客・稼働が低下したということではないと思う。しかし、一部のユーザーに対し機械入替でつなぎ止めていることも事実であり、業界全体で考えないと手遅れになる。自粛前・年末だからと目先の利益確保に走ると客離れがさらに進むと思う』(関東・中規模事業者)
- ◇『入替自粛自体は必要だと思うが、期間は見直しが必要だと思う』(関東・中規模事業者)
- ◇『年を通して定期的に行ってほしい。11月は年を通して一番悪い月なので今回の自粛をマイナスに捉えている人が多いが、総合的に考えるとなくてはならない行事だと思う。ただ、年間で一番稼働の良い月に行うのがベストではある』(関東・小規模事業者)
- ◇『年に2回、このような入替自粛の月があったらよいと思った』(近畿・小規模事業者)
- ◇『今回の自粛期間は稼働の落ち込む時期であり、現況を考えれば自粛で稼働が落ちたとは言いきれないと考える。様々なことを考えても年に1～2回の入替自粛はあってよいと考える』(近畿・小規模事業者)
- ◇『タイミング的に一年で一番稼働が下がる時期なので業界全体で大きな痛手だったと思う』(関東・大規模事業者)
- ◇『自由な経済活動を行えるよう入替自粛のようなことはやらないでほしい。お客様第一に考え、業界は協力すべきである。お客様が他のサービス業にいつてしまう』(関東・中規模事業者)
- ◇『来年からは全国単位での入替自粛など絶対しないほうがよい』(九州・中規模事業者)
- ◇『入替自粛前後に入替が集中し、お客様が分散した』(九州・中規模事業者)
- ◇『自粛期間だけではなく地域全体・業界全体での客数減少がまだ止まらない。底が見えない中、経費削減が重要課題である。遊技機の単価が高すぎるのが問題』(近畿・小規模事業者)

6. 現況や先行きに対するご意見

(一部抜粋)

- 『入替自粛を良かったと誘導する向きと、悪いと大義づけこじつけようとする向きで、業界内意見が分かれているような気がする。しかし、良いもしくは悪いと言い訳をする前に、やることが他にもあるだろうとを感じる』(近畿・小規模事業者)
- 『今こそホールとメーカーが歩みより、ファンを増やすためにはどうすればよいのか、真剣に議論し、変えるべきところは思い切って変えていく必要があると感じる』
(九州・小規模事業者)
- 『9月以降、自粛に関係がなく客入りが悪くなってきた。ファンのパチンコ離れや、若年層の低い就職率からくる低収入が参加人口減となっている気がする。社会現象としての少子高齢化が、あらゆる産業に影響を及ぼし始めている考えるべきかもしれない』
(中部・小規模事業者)
- 『組合の自主的強化と行動力が必要なのではないだろうか』(北海道・小規模事業者)
- 『メーカー側の機械販売については問題を感じる。自粛というやり方以外にメーカーが販売方法を変化できないのであればやむをえない。メーカーが自粛してほしい』
(近畿・中規模事業者)
- 『現況、先行きと共にパチスロは明るい材料が多い(ヒット機種や貸玉料金の多様化)。パチンコで、4円は言うに及ばず、1円での等価・新台・イベント競争はますます激化し、稼働は下がっている。先行きでも明るい材料は全くない』(四国・小規模事業者)
- 『パチンコ台の価格を現行より下げてほしい。上代20万円程度まで』(中部・中規模事業者)
- 『今年はカジノ法案の動向次第で、大きく法体系が変わる可能性があると考えている。
(風適法から一步前進できるかどうか)
長引くデフレスパイラルで消費税の引き上げがなされた場合、ホールが生き残れるか、大きな分岐点になる年と考えている』(近畿・中規模事業者)

調査結果概要データ

事業者規模別

項 目	DI 値区分			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し			
1. 全般的業況	-46.4	-53.7	-44.4	-58.3	-44.0	-20.0	-42.9	-58.5	-12.2	-36.8	-51.7	-26.9			
2. 稼働状況(パチンコ)	-10.7	-56.6	-43.4	-8.3	-42.0	-26.0	15.4	-85.4	-24.4	-1.6	-59.7	-31.9			
3. 稼働状況(パチスロ)	0	25.5	23.5	-13.0	22.0	26.0	-21.4	-9.8	36.6	-5.6	14.1	28.2			
4. 資本投資気運の変化(遊技機)	-20.0	-11.1	-31.5	4.8	-17.4	-25.0	-21.1	5.3	-21.1	-10.4	-10.9	-27.4			
5. 資本投資機運の変化(設備)	-6.7	-17.0	-3.8	4.9	13.0	6.7	-5.3	5.0	5.0	-1.9	-1.7	1.7			
6. 営業用設備の不足感	-42.9	-1.9	-9.4	-52.2	-10.0	-8.0	-30.8	-4.9	-4.9	-34.1	-5.6	-7.6			
7. 雇用人員の不足感	3.7	0	0	0	-8.0	-12.0	-15.4	2.4	4.9	4.9	-2.1	-2.8			

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

地域別

地域区分 項 目	北海道・東北			関東			中部・北陸		
	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し
1. 全般的業況	-53.3	-36.4	-27.3	-52.4	-63.0	-33.3	-26.9	-35.7	-17.9
2. 稼働状況(パチンコ)	13.3	-45.5	-18.2	-9.5	-70.4	-38.9	8.0	-55.6	-29.6
3. 稼働状況(パチスロ)	-86.7	0	18.2	-7.1	23.5	27.5	-7.7	10.7	32.1
4. 営業用設備の不足感	-13.3	9.1	9.1	57.1	-11.3	-7.5	12.5	-10.7	-21.4
5. 雇用人員の不足感	-6.7	9.1	9.1	-7.3	-1.9	-1.9	-16.7	3.6	3.6
地域区分 項 目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し	前 回	現 状	見通し
1. 全般的業況	-33.3	-53.8	-38.5	-9.5	-50.0	-11.5	-36.8	-51.7	-26.9
2. 稼働状況(パチンコ)	-9.5	-42.3	-26.9	0	-65.4	-30.8	-1.6	-59.7	-31.9
3. 稼働状況(パチスロ)	-10.0	15.4	26.9	-4.8	3.8	30.8	-5.6	14.1	28.2
4. 営業用設備の不足感	14.3	-3.8	-7.7	19.0	-3.8	0	-34.1	-5.6	-7.6
5. 雇用人員の不足感	-9.5	-15.4	-19.2	-14.3	0	0	4.9	-2.1	-2.8

注：北海道・東北：N=11 関東：N=54 中部・北陸：N=28 近畿：N=26 中国・四国・九州：N=26

資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	
資金繰り	-7.1	-67.9	-17.0	-30.4	-69.6	-11.1	0	-83.3	5.0	-13.8	-3.2	-11.0	
貸出態度	-22.2	-60.7	-19.2	-26.1	-60.9	-11.1	-21.4	-83.3	-10.0	-23.4	0	-14.5	
借入金利	0	23.8	-2.0	4.3	22.2	2.2	7.1	8.3	0	3.1	-63.9	0	

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353